

平成29年度

事業計画書

自 平成29年 4月 1日  
至 平成30年 3月31日

平成29年2月24日

東京都品川区大崎一丁目2番2号  
アートビレッジ大崎セントラルタワー  
公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団

平成29年度事業計画書  
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

医工計測技術分野における先導的技術開発、技術の交流等を促進し、また人材を育成することによって、医工計測技術の広範な発展を推進し、我が国ならびに国際社会の発展および生活の向上に寄与することを目的とし、次の事業および付随する活動を行うこととする。

**【1】 医工計測技術分野における技術開発に対する助成**

医工計測技術分野における先導的技術開発活動を促進するため、公募によって申請のあった研究に助成を行う。

**【研究開発】**

医工計測及び関連技術の研究に対して、必要資金の全部または一部を助成する。

研究開発助成 : 1件最大 400 万円 (20 件程度)

奨励研究助成 : 1件最大 200 万円 (20 件程度)

**【特別研究】**

医工計測技術分野において基盤となる開発研究を一層発展させることにより、卓越した成果が期待でき、かつ実用化が見込まれる研究成果の創出に資する研究に対して助成する。

特別研究助成 : 2年間で最大 3,000 万円 (5 件程度)

(※初年度最大 2,000 万円の助成可)

**【長期大型研究】**

医工計測技術分野のさらなる発展のため、国内外の研究人材交流による先進的な研究や既存の枠を超えた融合的な研究により将来的に新しい技術や学術・応用分野を切り開くための基盤を生み出すと同時に、将来グローバルに活躍できる若手研究者の育成に資する長期の大型研究に対して助成する。

長期大型研究助成 : 年間最大 6,000 万円を最長 5 年間 (1 件)

## 【2】 医工計測技術分野における技術開発に顕著な業績をあげた研究者の表彰

医工計測技術分野における技術開発の飛躍的な発展を期して、顕著な業績をあげた研究者の表彰を行う。

### 【中谷賞】

医工計測及び関連技術の研究者に対して、公募等により推薦のあった研究者に中谷賞を表彰する。

大賞	:	1 件	500 万円 (1 件)
奨励賞	:	1 件	250 万円 (2 件程度)

## 【3】 医工計測技術分野における技術交流に関する助成

医工計測技術分野における技術の交流を促進するため、公募によって申請のあった内外の研究者の交流に対し助成する。

### 【交流プログラム】

医工計測技術分野の技術交流に関し、必要資金の全部または一部を助成する。

海外派遣交流	:	1 件	40 万円
日本招聘交流	:	1 件	50 万円
日本招聘交流特別プログラム	:	1 件最大	300 万円

※) 日本招聘交流特別プログラムに関しては、海外の著名な研究者を招聘する医工計測技術およびその関連周辺技術分野における高度な技術交流に関し、公募によって申請のあった対象者に対して、必要資金の全部または一部を助成する。ただし、50 名以上の聴衆を集める開かれた講演会・技術交流会の開催を条件とする

### 【研修プログラム】

海外の大学や研究機関に私費で渡航研修する者に対し、渡航費と滞在費の全部または一部を助成する。

海外研修	:	渡航費	最大 30 万円
	:	滞在費	月額 25 万円 (最大 6 ヶ月)

#### 【留学プログラム】

海外の大学や研究機関に私費で留学する者（日本留学の場合は海外から日本の大学や研究機関に私費で留学する者）に対し、滞在費の全部または一部を助成する。

海外留学 : 1件月額 25 万円（2 年間を限度）（10 件程度）

日本留学 : 1件月額 20 万円（2 年間を限度）（5 件程度）

#### 【4】 医工計測技術分野における技術動向等の調査研究に対する助成

医工計測技術分野における技術の発展を促進するため、公募によって申請のあった技術動向等に関する調査研究に対して助成する。

- ・医工計測技術分野における技術動向等の調査研究について、必要資金の全部または一部を助成する。

#### 【5】 医工計測技術に関する情報の収集及び提供

医工計測技術に関する情報、文献、資料等を収集整理し、その広範な利用を図るための活動を行う。

- ・医工計測技術関連の情報については広範な利用を図るため、当財団の研究助成事業、表彰事業、技術交流助成事業、調査研究事業等、財団の事業活動を取りまとめて「年報」を作成し、広く関係機関に無償提供する。
- ・当財団の研究助成事業、表彰事業、技術交流助成事業、調査研究事業等、財団の事業活動等で得られた医工計測技術の過去、現在、未来の動向や世界の学術研究・技術開発の動向等を調査し、重点領域を抽出し、当財団の諸事業の目的達成の一助とする。

#### 【6】 科学教育振興に対する助成

6-1 : 科学技術者の裾野拡大を目的として、小学、中学、高校等における科学教育振興のための助成を行う。

- ・公募によって申請のあった科学教育活動に対して、必要資金の全部または一部を助成する。

**【個別助成】**

小学・中学・高校等の教育機関：1件最大 30 万円

**【プログラム助成】**

複数の学校等の教育機関：1件最大 100 万円（2 年間を限度）

**【意欲的な小学校の先生方を支援するプログラム助成】**

複数の学校等の教育機関や研究機関：1件最大 100 万円（2 年間を限度）

6-2：将来グローバルに活躍する研究者を育成するため、理系大学生（学部生）が海外での短期留学を通して最先端の研究活動や異文化を体験する機会を提供するための助成をおこなう。

- ・公募によって申請のあった理系大学生（学部生）に対して、必要となる諸経費の全部または一部を助成する。

**【国際学生交流プログラム助成】（中谷 RIES フェローシップ）**

日本および海外の理系大学生（学部生）：プログラム中の研修費、渡航費、保険料、滞在費等の全部または一部  
（日本学生 12 名、海外学生 12 名程度）

**【7】奨学金**

将来グローバルに活躍する研究者を育成するため、医工計測技術分野および関連技術分野の博士号取得を目指す大学院博士課程前期・大学院博士課程後期の学生に奨学金を給付する。

**【奨学金助成（給付）】**

大学院博士課程前期学生：1件月額 10 万円

大学院博士課程後期学生：1件月額 15 万円

（前期、後期合わせて 10 件程度）

以上